

平成30年度第1回今治市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時 平成30年5月30日(水) 14:00~15:50

場 所 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号

出席者

- ・委員：越智 博，窪仁志（武田輝大），門田 正孝，渡辺 範之，平野 勇夫，赤尾 宣宏，福田 尊元，高瀬進，橋本司，村上 和義，島崎 義弘，豊嶋 博，村上 友則，丹下隆志，吉良 雅文（原田道照），村上 恵子，松村 暢彦，山本 充一，中川 美奈子 ※（ ）内は代理出席者
（欠席）稲荷 和重，田所 秀志，野間 史仁，三好 哲，砂田 篤志，阿部 克也，谷本 昌啓

- ・事務局：木村地域振興局長（兼）地域振興課長，越智課長補佐，丹下係長，田頭主査

1. 開 会

事務局（木村地域振興局長）：

只今から「平成30年度第1回今治市地域公共交通活性化協議会」を開会させていただきます。

私、今治市企画財政部地域振興局長の木村と申します。お手元に配布いたしております会次第に従いまして進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日ご出席いただいた委員は、会議開催の要件であります過半数を超えておりますので、会議が成立することをご報告いたします。

また、本会は原則公開となっておりますので、本日も公開とさせていただきます
それでは、配布資料のご確認をお願いいたします。

（配布資料確認）

続いて、開会にあたりまして、今治市副市長 越智博より、ご挨拶を申し上げます。

2. あいさつ

越智会長（副市長）：

皆様こんにちは、副市長の越智でございます。本日は、大変お忙しい中、ご参集いただき誠にありがとうございます。また、日頃より当市行政の推進におきまして、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本会につきましては、公共交通のマスタープランとなる「今治市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域にとって望ましい持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け、昨年度2月に委員の皆様の承認をもちまして設立されたところでございます。

今年度は前回スケジュールにてお示ししましたとおり、網形成計画策定に向け、事前調査の実施などの準備を進めていくことを予定しておりますが、第1回目となる本日の協議会におきましては、今治市の交通状況を把握するための事前調査の内容等についてご検討いただくとと

もに、昨年度末に愛媛県において策定された「愛媛県地域公共交通網形成計画」における当市に係わる事業について皆様に共有いただきたくと考えております。

本日も皆様には忌憚ないご意見をいただきながら、協議を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3. 人事異動に伴う委員の変更について

事務局（木村地域振興局長）：

それでは、人事異動による委員の変更がございますので、変更があった方のみご紹介させていただきます。

（人事異動による変更委員、併せて、代理出席委員、欠席委員について紹介）

事務局及び今治市関係課については裏面のとおりです。よろしくお願いいたします。

事務局（木村地域振興局長）：

続きまして、次第4議事に移ります。ここからは、越智会長にお願いいたします。

4. 議 事

（1）平成29年度事業報告及び収支決算（案）について

越智会長：

それでは議事に入らせていただきます。

まず、議事（1）「平成29年度事業報告及び収支決算（案）」について、事務局に報告を求めます。

事務局（越智課長補佐）：

（資料1-1に基づき、「平成29年度事業報告及び収支決算（案）」について説明）

（2）平成29年度監査報告について

越智会長：

続きまして、議事（2）「平成29年度監査報告」について、収支決算につきまして監査をしていただいておりますので、監事を代表して、島崎委員から監査報告をお願いいたします。

島崎委員（監事）：

5月17日において、私と三好委員（監事）において、平成29年度今治市地域公共交通活性化協議会の会計帳簿及び関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることをご報告いたします。以上です。

越智会長：

ありがとうございました。ただいまの事業報告並びに収支決算報告、加えて監査委員さんからの報告について、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

(異議なし)

「平成 29 年度事業報告及び収支決算（案）」についてご承認いただけますでしょうか。

(拍手)

(3) 平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）について

越智会長：

続きまして、3 つ目の議事であります「平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）」に移ります。事務局に説明を求めます。

事務局（越智課長補佐）：

(資料 2-1「平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）」、資料 2-2「今治市地域公共交通現況調査業務委託実施仕様書（案）」について説明)

越智会長：

ただ今の説明に対し、ご意見、ご質問などはございませんでしょうか。今年度より、事前調査として具体的な作業に入っていくこととなります。仕様書を含めまして、予算案につきましていかがでしょうか。

山本委員：

先日、運輸局から通知があったかと思うのですが、31 年度以降計画策定をされて国庫補助事業を申請される場合は、まちづくりとの整合、立地適正化計画との関係性を取っていくことが必要な流れですので、今年度の調査計画内容にはそういった内容が含まれていると思いますが、認識しながら調査を進めていただければと思います。

事務局（越智課長補佐）：

山本委員のご指摘を踏まえまして、計画策定に望みたいと思います。

越智会長：

特にご意見がないようでしたら、先程いただいた意見を踏まえて作業を進めることとし、「平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）」について、ご承認いただけますでしょうか。

(拍手)

それでは、今年度の事業計画及び予算は成立といたします。実施仕様書についてもこのような案で今後作業を進めることにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

続きまして、次第 5 報告等に移ります。「愛媛県地域公共網形成計画における実施事業と検討課題（案）」について、事務局に説明を求めます。

5. 報告等

(1) 愛媛県地域公共交通網形成計画における実施事業と検討課題

事務局（丹下係長）：

愛媛県地域公共交通網形成計画について、資料 3-1 をご覧ください。こちらは、愛媛県により主に幹線的な機能を担う公共交通について、まちづくりや観光・福祉分野とも連携した維持・活性化や持続可能な公共交通ネットワークの再構築に、広域的な観点から取り組むことを目的とし、県全域を対象として昨年度策定されたものです。県内の現状や課題が上段に記載されており、下段の個別の実施事業のうち、当市に関するものについて説明させていただきます。

(計画目標 1『まちづくりと連携した「軸」と「拠点」の設定による地域住民の円滑な移動を支える公共交通ネットワークの構築』、計画目標 2『広域交通と地域間・地域内交通の連絡性の向上による切れ目ない県内交通ネットワークの構築』について説明)

越智会長：

かなり膨大な量でございますので、一度ここで切らせていただきまして、ただ今の計画目標 1 及び 2 について、ご意見、ご質問等はありませんか。

松村副会長：

3-2 の 1 ページですが、「幹線」「支線」の分類というのは非常に大きなことと考えますが、利用状況に合わせた運用水準の適正化を図ると書いてありますが、利用状況に合わせたという調査は来年度実施されるのでしょうか、それに向けて今年度実施する内容についてお伺いします。

事務局(丹下係長)：

先程の事業計画の中で、交通現況調査としておりましたが、この中で「幹線」や「支線」を結ぶ交通結節点における利用状況等の調査を実施したいと考えています。つきましては、今治市における現状の交通結節点について、委員の皆様のご意見をお伺いできたらと考えております。

松村副会長：

資料 2-2 で交通結節点調査 10 箇所程と書いてありますが、今治駅、今治棧橋が県の方でも挙げられていますが、それ以外にもあるんじゃないか。例えば、イオン新都市とかが候補として挙げられる可能性があるということですね。そんな候補を今年度調査されて、利用状況等自体は来年度になるけども、今年度その他候補の結節点の情報提供の状況とか必要な機能が入っ

ているか等の調査を行うということですね。

越智会長：

仕様書における交通結節点調査の今治駅、今治棧橋に加えて、その他にもこういう所が考えられるとか、この協議会の席でご意見がいただければと思います。資料 3-2 の地域内交通の幹線、支線の分類に関ってくるかなと思います。ここでは幹線バス路線、支線バス路線の棲み分けということで、路線として菊間線や竜岡線、神子森線を参考にしながらご意見をいただければと思います。

事務局(木村地域振興局長)：

4 頁になりますが、県の計画の対象路線として、菊間線であれば星之浦、竜岡、神子森線で玉川支所、朝倉線で朝倉支所を結節点にしてはどうか、県の計画書に載っております。松村副会長から話にありました新都市の大型商業施設を加える。それ以外に、県の計画に載っていない島しょ部についても、こういうところを結節点に考えられるのじゃないかという様なご意見をいただければと思います。

渡辺委員：

瀬戸内海交通は、宮浦港から今治棧橋までと大三島、伯方島、大島で島内線を運行しております。利用しているお客さんは県病院が多いです。今治駅が一番多く、他にはバスセンターが多いが、今治港はゼロではない。今治駅を結節点として棧橋まで行かないのは困る、今の経路で良いと考えています。済生会病院への直接乗り入れは頓挫している状況です。島しょ部は少子高齢化が進んでおり、病院は重要な施設である。瀬戸内海交通としては、県病院の移転を心配している。

赤尾委員：

今治港に「はーばーりー」が完成し、未整備の部分も多くありますが、整備が進んでいる。現在、コインパーキングが整備されつつあるので、パーク&ライドの基点として港を利用していただけるとありがたい。駅前には便利だがパーキングする場所が少ないので、港の方をPRしていただいて、港からバスの始発、特に長距離バスの始発なんかには便利だと思います。島しょ部から離島航路の船が出入りしますので、その人たちのためにもうまく活用していただきたい。

村上委員：

吉海町に住んでおまして、病院の行き来が大変重要なポイントとなっていると思います。吉海町の場合、支所のバス停が今治市中心に行くバスと島内を循環するバスがずれているんです。吉海支所をはさんで右と左に分かれていて非常に不便なんですよね。今では、亀山バス停で乗り継ぎをするのが便利との話になっている。二つのバス停が一緒にならないか、利用者が言っている、考えていただけないか。伯方であれば、急行バスと島内バスが乗り継ぎできている。大三島は不便じゃないかと思う。バスの乗り継ぎを考えて欲しい。

渡辺委員

ご指摘のあった路線は、下田水から田浦線になるのですが、これが町中を走るということで、バス停も小学校を借りている、バラ公園に向かっているということでこうなっているのでは。皆さんの意見をお聞きしながら検討したい。

越智会長：

今治駅はもちろん中心拠点、今治港は航路やパーク&ライドの拠点からの調査、利用形態としては病院、特に県病院が調査のポイントとして意見があがっています。島しょ部につきましては、病院も考えなければなりませんし、島しょ部各支所と島内交通との結節点を考えた上でポイントの抽出と言うご意見かと思えます。

渡辺委員：

友浦港について検討して欲しい。フェリーや快速艇が止まる港のバスとの連結をどうして行くか検討していただきたい。

越智会長；

船舶とバス交通の連結に関するご意見かと思えます。

渡辺委員：

大三島の宗方港、大島の友浦港、伯方の木浦港。友浦港が県単ではなく市単バス路線となっている。船客と待合所での連携を検討していただきたい。

越智会長：

今治地域の特徴で、船舶とバスの連結は解決しなければならない問題です。交通結節点調査のコントロールポイントとして、調査地点をどうするか検討する必要があるかと思えます。交通結節点調査として、今上がっているのが、今治駅、今治港、県病院、支所、高速バスとの連結、船舶との連結ポイントが調査の対象となろうかと思えます。

事務局(木村地域振興局長)

A3版の参考図を見ていただければ全体がわかるかと思えます。大島でいいますと、亀山で乗換えられている、支所も使われている。伯方で言うと、バスストップが島内路線と急行バスとの乗り継ぎ点となっている。大三島の宗方、伯方の木浦、宮窪の友浦、これらも結節点と考えながら、請負者と全体計画を検討したいと思えます。

松村副会長：

山本委員からご指摘のあった、まちづくりとの連携です。交通結節点ですから何かと何かとの乗り継ぎということなので、そこに何かの機能が必要になってくるわけですね。立地適正化

的な観点を踏まえて、もっと整理すべきだということを汲んでいただきたい。

越智会長：

今後、コンサルタントとの協議を踏まえ、交通結節点のポイントの選定、立地適正化計画との関係、船舶交通との関係、急行バスとの乗り継ぎ等の検討を事務局の方で進めていくということでもよろしいでしょうか。

越智会長：

続きまして計画目標 3, 4 をご説明いたします。

事務局（丹下係長）；

（計画目標 3『国内・海外からの観光ニーズに対応した公共交通利用環境の整備』、計画目標 4『持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた運行水準の適正化』についてご説明）

越智会長：

ただいまの、計画目標 3, 4 について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

丹下委員：

直接、地域公共交通とは関係ないと思うのですが、6 ページに高虎号、鶴姫号があがっております。この事業につきましては、今治中央観光協会も関係しておりましたものですから、数値だけ集計してきましたので報告させていただきます。高虎、鶴姫共に平成 24 年度に終了ということになっておりますが、陸地部の高虎号につきましては、平成 18 年度が 3, 157 名、19 年度が 2, 025 名、20 年度が 2, 150 名、21 年度が 1, 792 名、22 年度以降につきましては 12 月からは運行しておりませんでしたので、22 年度が 755 名、23 年度が 654 名、最終年度が 674 名ということで、日曜日の 1 日 5 便の延べ人数となってこようかと思えます。乗車人数の大きい頻度数でいきますと、タオル美術館が 38%、今治駅が 31%となっております。島しょ部の鶴姫号につきましては、22 年度から 24 年度の 3 年間ということで、22 年度が 1, 094 名、23 年度が 644 名、24 年度が 486 名ということで、これは日曜、祝日運行ということで、運行日数で日割りいたしますと、22 年度が約 30 名程度、23 年度が 14 名程度、24 年度が 10 名程度になっている状況でした。数値だけ報告させていただきます。

越智会長：

貸切バスの充実ということがありますが、現状いかがでしょうか。

門田委員：

去年は国体がありましたので、地元の仕事が多かったのですが、東京、大阪等で使用するバスが無いということから稼働率を落としておりました。これからは良い計画書を出して貰って

活性化に持っていかなければならないのですが、高虎号、鶴姫号は、私が尾道、高松、高知を見て回りました。これらのマネをするのではなく今治市の活性化を目的として、ラッピングもして始めましたが、ある程度の道筋が見えたところで止めました。

今の時点では、インバウンドの増加は今のところ難しいと考えます。船の大型船が着くのは高知の港、中型の船で高松、愛媛には良い船が着くところがない。今は、あまり増えないものと考えております。将来はわかりませんが、計画目標の1番, 2番(交通ネットワークの構築)が固まってきれいに出来てから、3番(観光ニーズに対応した公共交通の整備)に取り掛かったら良いと思います。

越智会長：

高虎号、鶴姫号は一定の役割を果たしての現状ということでしょうか。また、インバウンドの対応としましては、大きな船が入る港というと、高知、高松、愛媛で言えば宇和島くらいかなと思っております。大型船の寄港が難しい中での今後のインバウンドに対する考え方であろうかと思えます。

門田委員：

今の段階であれば、しまなみには良い路線があります。サイクリングのお客様がかなり増えております。サイクリングのお客様は高額な自転車に乗っている方が多いので、バスに乗せるのは今の段階では無理だと思うのですが、こちらにきて自転車を借りる方はたくさんおります。一例では、大阪からの夜行便できて、今治国際ホテルで下りて、今治駅で自転車を借りて、途中大三島で乗り捨てて、尾道から新幹線で帰る。東京からではこっちに来て道後に行く人もいます。インバウンドではなくサイクリングのことを考えなければと思います。

越智会長：

今治地域においては、インバウンドではなく、しまなみ海道はサイクリストの聖地でございますのでサイクリストの需要ということも検討課題のひとつとして考えてはどうかというご意見だと思います。

事務局（木村地域振興局長）：

サイクリングは今治市独自の観光資源でありますので、それを踏まえた計画を作成していくべきものと考えておりますので、よろしく申し上げます。

越智会長：

観光とかになりますと、地域の状況というのが大きな部分となります。観光客が何を目的にしてこられているかを踏まえた中の検討が必要となってくるかと思えます。計画目標1、2にありました結節点、あるいはポイント、計画目標がそれぞれ独立しているわけではないということもあったと思います。施設の立地という中でも考えていけないと思います。計画目標3,4につきましては、外から入っていただける皆様の需要の可能性ということが大きな

課題になろうかと思えます。

他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。それでは、引き続き、計画目標5について説明をお願いします。

事務局（丹下係長）：

（計画目標5『新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進の実施』についてご説明）

越智会長：

愛媛県地域公共交通網形成計画における実施事業の説明と現在考えております検討課題の案について説明がありました。サイクリング関連につきましては、先程ご意見をいただきましたが大きな検討課題として考えられております。県の地域公共交通網形成計画の実施主体として位置づけられております皆様におきましても、主体的にご検討いただくことになろうかと思えます。よろしくをお願いします。計画目標5につきまして、先程の説明に対して、何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

渡辺委員：

13ページのバリアフリー化ですが、当社も補助金を貰いながら車両更新しておりますが、当社の収入の大きな部分は今治市のスクールバスが占めておりまして、新車両では着席での乗車定員が減ることになります。親御さんは席に着くまで確認される方が多く、全車バリアフリーにしまうと高学年が席を立つことになる。現在は、整備の方で努力しながら古い車両を維持している状態です。座ってもらうとなると、2台、3台増やすこととなります。

越智会長：

各実施主体さんの方が主体的になって考えていただく部分がかなりあるかと思えます。本年度は基礎調査ということですが、今後、実施主体の方で検討いただき網計画の作成を進めていくことになろうかと思えます。

赤尾委員：

2,3万円払えば3ヶ月間無料となるような、高齢者の割引定期は、今治市にはあるのですか。免許返納者の割引はやっておりますよね。どんどん高齢化する中で利用者を増やしたり、事故を減らしたりする意味で高齢者割引を実施できないのでしょうか。バス会社の採算性が悪くなるのか、それなら何らかの市からの助成ができないのか。

渡辺委員：

瀬戸内海交通は、3島の島民が利用しているバス会社ですが、主な利用者は学生さんで定期を買っていただいて今治に通学、市役所、農協の職員さん、後、高齢者の通院で、高齢者の料金を割引したら経営が苦しくなります。島民の中の利用者はほとんどが高齢者です。

高齢介護課（村上課長）：

高齢者の割引パスの話が出ておりましたのでお答えさせていただきます。現在、今治市では高齢者の方に半額補助するような制度はございません。幹線道路ではバスが走っているのですが、その幹線道路、谷筋まで出て行くのが出来ないんだというお話を伺います。その方策について、各地域の老人クラブの方や自治会の方や社会福祉協議会などの方と検討させていただいているのが実態でございます。

越智会長：

高齢者の需要の拡大する中での福祉という話でしょうが、免許返納者についても、今後検討していくべき課題の一つであろうかと思えます。

モビリティマネジメント等による利用促進策が挙げられておりますが、松村副会長なにかご意見ございますか。

松村副会長：

高齢者の健康問題ですけど、福祉だけではなく予防的な意味で全国において様々な補助事業がありますので、一度検討されてはいかがでしょうか。

市に獣医学部ができています。ここに、通学者という新たな需要が増えてくるわけで、この移動をどう取り込んでいくかが、大きな課題かと思えます。これも、網形成が出来てから動かししょうというわけではなくて、出来る事からどんどんやっていったらいいと思えます。もう実施されているかもしれませんが、入学手続きの時にバスの定期券の買い方や値段の情報提供するのは常套手段だと思います。私も大学2年生の親ですけども、入学金の手続きで何百万ということもあろうかと思えますが、その中で、バスの定期券は非常に小額に見えるんですね。その時に併せて定期を買っていただくというのは良くある方法です。情報提供としては非常にやりやすく効果が大きいと思えますので、交通事業者の方と学校関係者の方と連携して、適切な時期に適切な方法で情報提供すると、利用者、事業者にとってメリットも大きいウインウインの関係になろうかと思えます

6 ページに観光バスという話がありましたが、最近の流れを考えますと路線バスを使ってタオル美術館など、その他の観光名所に行けるという方法もあるんじゃないかと思えます。今の路線バスを使って、バス路線を増やしたり、乗務員を増やしたりしないで、今治駅に来た観光客に情報提供で案内を検討出来たらなと個人的には思えます。

モビリティマネジメントは様々な方法があります、あまり枠にとらわれず、全住民にバス路線のマップを配ったら利用が増えるというようなことはないので、適切な方に適切な時に、適切な方法を考えて、情報提供するというのが趣旨です。沖縄県の県立高校で生徒会が参加して生徒がデザインするような、小さな時刻表と高校生が必要な情報、遊びに行く時に、塾に行く時にこのバスに乗れるか、高校生が自ら考えてマップにするという授業がなされていて、事務局といいますか、協議会が全部用意するんじゃないくて、高校生自ら考えていく、そんな方法もあると思えますので、出来ることから本年度からやっていくのが良いのかなと思えます。

越智会長：

協議会につきましては、今年度第一回、これから基礎調査をしようというものです。今日、頂いた、検討課題のご意見を踏まえながら、進めていくことになります。全般を通じまして、県の交通網形成計画における実施事業における検討課題の案での意見を踏まえる中で、今後、基礎調査を進めたいと思います。他に、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

平野委員：

皆さんに知っていただきたい暗い話なのですが、日本全国で25年までに10万人タクシードライバーが減っている。タクシーの運転手はご年配の方々でしょ、愛媛県で平均年齢が62.9歳、地元愛媛の方が全国より高齢化が進んでおりタクシードライバーがいなくなる。愛媛県には2,458台、今治市に274台。現在、動いているのは200台っていないと思います。日本全国の67%の会社が赤字なのです。私ども会社もどうやらこうやら赤字になったり、黒字になったりしているので銀行もお金を貸してくれますが。農業をしているので、米だけは食べられますが。タクシー車というのがあるのですが、トヨタが1種類、ニッサンも1種類。トヨタの場合、従来のタクシーより160万円高くなった。今まで貯蓄していたお金を出さなければならぬ。出せるところだったらいいのですが。近い将来、今治もタクシーが3分の1になったらいいほうだと思います。今年になって東予地区でタクシー会社が2社無くなりました。昔は免許を持ったタクシーが最低でも1台500万円の値打ちだったのが今は0円になりました。バス会社も今年で3社やめました。儲からないのと運転手不足です。

私どもの会社が出来て68年ですが、昔はお客様にも乗せていただく、我々運転手も乗っていただく互譲の精神がありましたが、いまは両方がゼロ。これから、タクシーが少ないから忙しくなります。平成7,8年頃は良く東京に出張に行きましたが、絶対タクシーに乗せてくれなかった。1万円出していたら止まってくれた。今、東京がそれに近い状況になって、タクシー運転手がいなくて水揚げがあがっている状況になっています。今治市では救急車が忙しくなるといいますよ、タクシーがそれだけいなくなりますから。

明るい話ですが、市の観光課からの話ですが、今治に来たお客さんをどうにか楽しく過ごしてもらおう、日本全国の観光会社に宣伝をしているのは、今治駅から大島へのサイクリングで、天気の良い日は自転車に乗って帰ってもらおう観光です。これが月最低でも3,4件、お子さんの休みの時期には倍ぐらいあります。今治に、北海道から色んな所から今治に来てくれていると思っております。

越智会長：

人口減少、高齢化社会という中で、結構共通する交通の問題があろうかと思えます。そういう中で、今治地域における持続的な交通網について今後皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。

他になにかございませんでしょうか。

(質問・意見等なし)

それでは、愛媛県地域公共交通網形成計画における実施事業と検討課題の報告について、今

後皆様から頂いた意見を参考にしながら、一緒に検討させていただければとおもっております。

越智会長：

次第の6 今後のスケジュールについて事務局から説明を求めます。

6. 今後のスケジュールについて

事務局（越智課長補佐）：

（資料4に基づき、「今後の今治市地域公共交通活性化協議会スケジュール（案）」を説明）

越智会長：

事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

（質問・意見等なし）

本日は、平成30年度第1回の協議会でございます。愛媛県の網計画の課題と方針につきまして、ご説明申し上げ、本日いただきました意見を踏まえまして、基礎調査事業を進めてまいりたいと思っております。

調査事業についきましても、まだ、緒に就きましたばかりですが。全般通じて何かご意見・ご質問ありましたらお願いします。

山本委員：

愛媛県の網形成計画に基づいて、今治市さんが今後取り組んでいかれる内容ということでご説明をいただきました。確かに、盛りだくさんのメニューがございまして、松村副会長も話されておりましたが、スケジュール感からしますと実施計画を実際に動き出すのが32年からの感じに見えますが、出来ることから取り組んでいかないと、先程、平野委員が話されていたように高齢化も進んでいますし、獣医学部の開学も今年ですし、乗合バスで荷物を運ぶ貨客混載や、サイクルに関する事等、できることからやっていく事が大事だと思います。

国・県が支えるべき路線、県が支えるべき路線、そこまでをつなぐためのフィーダー路線を詳しく精査をして、本当に必要なか必要じゃないのか、必要ならどういった方で残していくのか、公共交通の確保維持の基本ですので、そのための調査を目的とされていると思いますので、立地適正化計画とかインバウンドの対応であるとか色々なものがあって複雑そうに見えるのですが、喫緊の課題といたしますのは地域公共交通としての住民の足の確保がメインであることを再認識していただき、有意義な協議会にさせていただければと思います。

越智会長：

ありがとうございました。様々なところで大きな課題を抱えているのが地域公共交通であろうかと思えます。先程、山本委員より話がありましたように、目的と言う物を見失わず、地道に調査をし、検討していくことが大事だと思います。一方では、皆さんからお話しをいただい

たように、喫緊の課題というものは待たずして解決しなければならないという認識の中で、今後、着実に並行して検討しなければならないと思います。

特に、今治地域においては、話にありました獣医学部の開学、イオンモールのオープン、サイクリストの需要というような新しいこともあります。そして、高齢化社会、人口減少社会における事業者の経営ということも大事なことでございます。

平成 32 年度に向けての、公共交通網計画の目的を見失わず、協議会としてしっかり検討してまいりたいと思いますので皆様よろしく申し上げます。何かございますでしょうか。

それでは、これもちまして本日の議事は終了いたしました。事務局にお返しします。

7. 閉 会

事務局（木村地域振興局長）：

委員の皆様ありがとうございました。以上を持ちまして、平成 30 年第 1 回協議会を終了いたします。本当に、長時間ありがとうございました。

（了）